

# 地域事業者の「脱炭素経営」を後押し！

大府市は、脱炭素経営やSDGsを進める/進めたい企業を応援&支援しています！  
あらゆる業界のサプライチェーン企業で「脱炭素経営」が必須となる時代が目前まで来ています。  
将来のこども達のために、明るく持続可能な社会をみんなで創っていく事業です。

## 事業の目的

- ① **脱炭素経営**についてみんなで考える！
- ② 自社のCO<sub>2</sub>排出量を**見える化**してみる！
- ③ 自社の**CO<sub>2</sub>削減目標**を掲げてみる！
- ④ **目標達成の道筋**を社内で検討してみる！



## 事業のプログラム内容

### 特別講演会 (オープンセミナー)

#### 達成目標 脱炭素経営に取り組む必要性を理解する。

脱炭素経営に踏む出すための**はじめの一歩**として、  
講師から**脱炭素の基本知識**をレクチャーしました！

【全体講師】畑中 直樹 氏  
大阪大学大学院工学研究科招聘教員(環境・エネルギー工学専攻)  
(株)地域計画建築研究所(アルバック) 役員(新領域担当)



※特別講演会への参加企業数: **19**社(21人) ※主な参加企業の業種は「製造業」でした。

### 基本講義 & グループワーク ~part1~

#### 達成目標 脱炭素経営に取り組むための基礎知識を知る。

自社のCO<sub>2</sub>排出量の換算方法(**見える化**)を学び、  
参加者同士で排出状況等の**課題を意見交換**しました！

脱炭素経営の「トッランナー」となるべく、4社の企業が参加！



### 個別相談会 (オンライン開催)

#### 達成目標 脱炭素経営を推進するにあたっての課題を解消する。

脱炭素経営方針や削減目標についての、  
**悩みや課題を解消**する会を開催しました！

「誰一人取り残されないための相談会」を実施！



### 基本講義 & グループワーク ~part2~

#### 達成目標 独自の脱炭素経営アクションプランを作成する。

特別講演会や基本講義 & グループワークで  
学んだことをアクションプランにまとめて、  
独自の脱炭素経営プランを作成しました！

最後に、「脱炭素経営プランの発表会」を開催！  
ここからが、脱炭素経営のスタート！！



# 事業に参加した事業者の声

## 【特別講演会】

- **社会的な状況や脱炭素の実例を学ぶ**ことができ、とても良い機会となった。
- **新しい具体的な事例を沢山紹介され**、実りある時間を過ごすことができた。

## 【個別相談会(オンライン開催)】

- 相談しながら進めることができ、**分からないまま進むことがなかった**。
- **弊社の職種をよく理解され**、問題点や改善点を親身に相談させてもらった。

## 【基本講義&グループワーク~part1~】

- **他社の生の情報**や脱炭素に関する**専門家の意見**も聞く事ができて良かった。
- 自社よりも脱炭素を進んで行う**他社の課題**を聞くことができて良かった。

## 【基本講義&グループワーク~part2~】

- 自社で取り組めていないこと、そして取り組んでいくべきことの**整理**ができた。
- 脱炭素に対する**トップ(経営者)の思い**を再確認する良い機会となった。

## 【事業後アンケート(事業全体を通じて)】

1. 参加者全員が本事業について「**満足**」と回答しています！

- **社会の動きや取り組むべきことを明確にするための良い機会**だと思いました。

2. 参加者全員が本事業への参加を「**他者に勧めたい**」と回答しています！

- 脱炭素経営の推進は大きい投資が必要になるため、**経営者への理解**も必要になる。
- 工場の推進者が**共通の知識や認識を持つこと**で脱炭素経営の促進へと繋がると思う。

# 事業に参加するメリット

## ① 脱炭素経営の気づきを得ることができる！

- 脱炭素経営を進めるにあたっては、脱炭素化の**社会的な動きや基礎知識**を体系的に理解することが必要不可欠です。
- 脱炭素経営に必要な**基本から応用までの知識**を丁寧に解説することで、**脱炭素経営への気づき**をサポートします。

## ② 取引先や新規顧客へ取組内容をPR発信できる！

- 脱炭素化の推進を図っている取引先に対して、自社の**脱炭素経営の方針や目標、計画**を示すことができますようになります。
- 新規顧客開拓時の営業でも、**脱炭素経営を推進していることを大きなアピールポイント**として示すことができます。

## ③ 自社の人材育成や他社交流/情報交換ができる！

- 本事業には、**若手社員から役員や経営者まで様々な方が参加**されるため、**従業員の人材育成**や、**役員・経営者同士の脱炭素経営に係る情報交換の場**としても活用していただけます。

目標年度にむけた脱炭素経営のロードマップ検討シート

会社名	本事業に参加された大府市内の企業者様	
◆脱炭素経営方針	2030年の温室効果ガスの削減目標を2013年比で50%削減する	
◆自社のCO2排出量の現状	◆削減目標	
<small>* 経理、内務(燃料費、用室別)、排出実態の特記、これまでCO2削減を記載</small>	▶ 2030年度までに	50%削減
<small>※ 数値以上欄(2,498t-CO2/1)内務部の削減(エアコン設置)</small>	▶ 省エネ 60% × 再エネ 80%	その他原単位などもあれば...
<small>[注] -空気のファン制御 -事業開始以降の削減 -受電機舎を省エネ機舎の更新</small>		

目標年度にむけた脱炭素経営のロードマップ検討シート

省エネ	取組	2024	2025	2030	効果(大・中・小)
	-CO2排出量の可視化	電気使用量の可視化 LED照明の導入			
	-空調機、電動機の見直し	省エネLED照明の導入 空調機の見直し			
	-空調機の見直し(省エネLED照明)	空調機の見直し LED照明の導入			
	-ヒーター・ヒートポンプ	ヒーターの交換 ヒートポンプの導入			
再エネ	太陽光発電				
その他	電気購入先変更				

◆脱炭素経営に向けた体制と情報発信  
本社の意向確認及び名古屋事業所内の体制づくり

※参加企業が作成した脱炭素経営計画の「アクションプランシート」の例です。